



# 人の心をつなぐために

野村のむら  
輝さん (12歳)

## 「人のとなり」とは…

文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てていくことを目的としています。

世界中で大人気のスポーツ、サッカー。世代や人種を問わず、多くの人から愛されているスポーツの一つです。今回は、サッカー強豪国の一つであるスペインに、単身で挑戦する一人の小学生の思いに寄り添います。

**サッカーとの出会い**

「幼馴染の影響で、小学1年生の時にサッカーを始めた」と話すのは平佐西小学校6年生の野村輝さん。3歳の時から自宅の庭などでボールを蹴ることが好きで、ボールに触れていたようですが、本格的にサッカーを始めたのは小学生になってから。当時小学1年生だった野村さんは、現在所属しているHenry Kagoshima FCに体験入団した際、6年生の先輩たちに憧れてサッカー人生をスタートさせました。

**自分をレベルアップさせるために**

テレビで海外サッカーの試合を見ていた野村さんは、選手のスピードの速さやパスの精度の高さに違いを感じたそう。もっとレベルアップしたいといけな

いと思ひ、横浜で行われた合宿に1人で参加しました。合宿中のコーチは全員スペイン人で、今までとは全く違う方法で練習や試合が行われたそうです。その経験から、海外でサッカーを学びたいと思ったところ、見学に来ていたチームの方から声が掛かったことが、海外に挑戦するきっかけの一つとなりました。その後、11歳以下の日本代表に選出され国際試合にキャ

**決意を胸に単身スペインへ**

スペインのプロサッカーチームであるブルゴスCFの下部組織と、その傘下チームであるブルゴスUDの2チームと契約を結び、4月から単身スペインへ渡る野村さん。他の国でもサッカーをしましたが、スペインに行くことを決意した最大の理由は、スペインで主流のプレースタイルが自分にマッチしていたからだそうです。そのプレースタイルとは、頭を使うサッカー。外国人と日本人では体格差もある。本場のスペインで頭を使ったサッカーを学びたい」と話します。

小学2年生の時からです。自分のプレースタイルに気が付き、世界を見据えてプレーしていたと話す野村さん。さらに、現地と一緒に練習をしたプレイヤーと関係が良好だったことも両チームに入団する決め手となりました。

**努力を惜しまない**

座右の銘は「愚公移山」。何事にも根気よく努力を続けければ

最後に成功することのたとえです。小学2年生で「僕には努力しかない」と自覚したそう。海外選手との体格差を埋めるために体づくりを行ったり、普段の練習以外での自主練習、動画を聞き流してスペイン語の勉強をしたりと、その言葉通り努力を続けています。また、スペイン語に慣れるため、スペインに渡ってからは公立の学校に入學し、現地の子どもたちと一緒に授業を受けるそうです。全てはサッカーの技術を上達させるため。「サッカーが大好きで、海外のサッカーチームの入場曲を聞いたり、試合を見たりといつもサッカーのことを考えている」と言います。

将来は「キャプテンとしてチームを引っ張っていけるような選手になり、日本人初のバロンドール賞を取りたい」と話します。

「楽しみなことは、生で試合を見ること。言葉の面で不安なことはあるけれど、初心を忘れずに頑張りたい」と話す野村さんは、今日も将来の夢に向かって走り続けます。



▲お世話になったHenry Kagoshima FCの山本監督(右)と

## みんなで薩摩川内市誕生20周年を盛り上げよう

令和6年は、薩摩川内市誕生20周年の記念すべき年です。この記念すべき年を、さまざまな事業を通して、市民の皆さんと一緒に盛り上げます。

### ■ロゴマーク決定



市誕生20周年を迎えることを広く周知・PRするためのロゴマークを募集したところ、全国から94件の応募があり、本市在住の越地成美さんの作品に決定しました。本市の伝統行事である川内大綱綱をモチーフに「綱」と「繋ぐ」をかけて次世代へつないでいく思いが込められています。

このロゴマークは、市民の皆さんも使用することができます。営利目的で使用する場合は申請が必要です。イベントなどさまざまな場面でご使用ください。



▲ロゴマークの説明



▲ロゴマーク使用に関して

### ■記念事業はホームページやSNSでも発信中

市では、市誕生20周年記念事業を広報紙やホームページの他、市公式LINEなど、さまざまな媒体を通して発信しますので、フォローなどして随時チェックしてください。



▲市誕生20周年記念サイト



みんなで盛り上げよう!

▲懸垂幕お披露目式の様子

## VOL.28 防災トピックス

### 災害はいつ発生するか分からない

令和6年能登半島地震により被災された多くの皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



▲令和6年能登半島地震について市ホームページ

### 災害に季節は関係ありません

災害と聞けば、本県では梅雨時期の大雨や、台風などを思い浮かべるのではないのでしょうか。しかし、令和6年能登半島地震のように災害はいつでもどこで発生するかわかりません。いつでも行動を起こせるよう災害に対する備えは、常に確認するようにしましょう。

### 備蓄に関する注意

防災リュックは、さまざまな場面、季節に応じた準備が必要です。例えばこの寒い季節、体温の維持が重要になります。停電などで暖房器具が使えなくなることも想定し、防寒対策として毛布やストール、小さく畳めるダウンジャケットや使い捨てカイロ、毛布、保温できる水筒、保湿クリームなど寒さ、乾燥対策ができるものを準備しておきましょう。

避難するときは、温かい服装で手袋や帽子、厚手の靴下などを着用し、濡れた場合は、体が急激に冷えるので速やかに脱ぎましょう。

### 問合先/防災安全課

防災安全G(内線4922)

また、女性の場合、避難所での生活に生理が始まる可能性も考え、生理用ナプキンやデリケートウエットシート、不透明(できれば黒色)のビニール袋などを備えましょう。

その他、災害に備えた備蓄品の準備などについては、広報薩摩川内6月通常版「防災トピックス」で紹介していますので、ご確認ください。

### 停電になったときは

皆さんは、災害発生時に必要な情報をどのように入手しようと考えていますか。災害の発生により、停電になる場合も少なくありません。停電すると、テレビからの情報が入り困難になってしまします。そのような場合には、自治体などから発信されるソーシャルメディアの情報を上手に活用しましょう。

**〇市公式LINE**  
【基本メニュー】→【防災情報】→【防災ホームページ】をタップすると、市が発信する防災情報や警報などの情報を確認することができます。



◀市公式LINEの友だち登録はこちらから

**〇X(旧Twitter)**  
市ホームページの最新情報の他、市政情報や防災情報などを確認することができます。



◀ログイン後、フォローすることができます



▲広報薩摩川内6月通常版「防災トピックス」



このコーナーでは、防災に関する備えや避難時の注意など、日頃から災害に備えるための情報をスポットで発信していきます。